

長岡京市歴史講演会

長岡京市市制施行 50 周年

桓武天皇と長岡京

なぜ乙訓郡長岡村が都として選ばれたのかについて、旧説も交え解説します。

- 講師 元(公財)長岡京市埋蔵文化財センター **小田桐 淳氏**
- 日時 令和4年10月23日(日) 13時半~15時 (開場13時)
- 会場 長岡京市立産業文化会館 1階 大会議室
- 定員 申込先着50人(10月2日9時から受付開始) ■資料代400円(当日受付にて)
- 申込み 下記Fax又はメールでお名前、電話番号、市町村名を記入してお申し込み下さい。

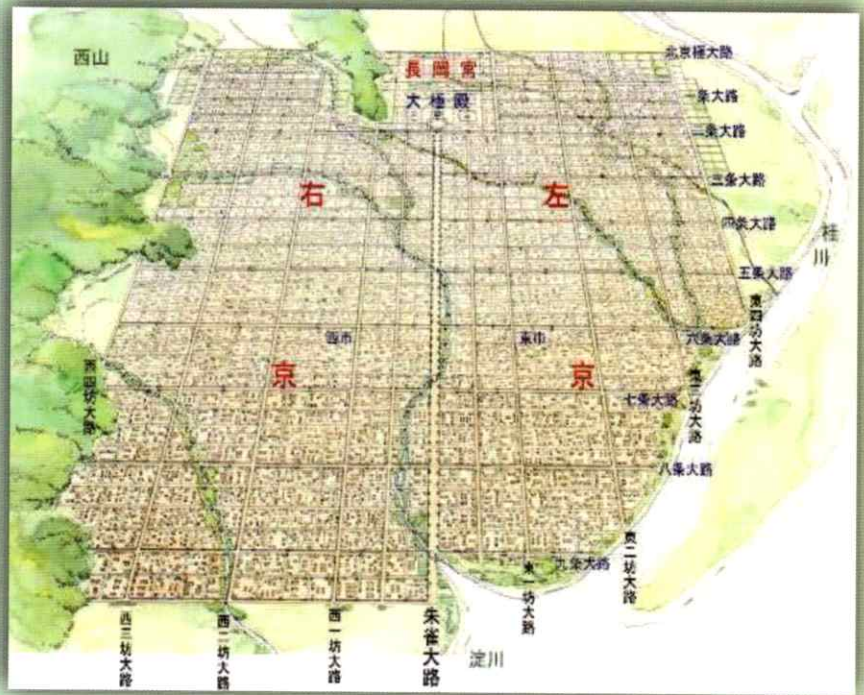
NPO 法人長岡京市ふるさとガイドの会 FAX 075-954-5523、✉ nagaokakyoguide@yahoo.co.jp

★当日は必ずマスクの着用をお願いします。検温にご協力をお願いします。
★発熱や風邪症状など体調不良の場合は参加をご遠慮下さい。

續日本紀卷第卅七 桓武天皇の時代

今皇帝 桓武天皇
延暦元年春正月己巳、以從五位下阿倍朝臣祖冠爲駿河守、從五位下阿倍朝臣石行爲下水上真人川邊爲因幡守、○癸酉、以從五位上大中臣朝臣藤原爲右少辨、○癸未、素戔、○閏正月甲子、因幡國守從五位下水上真人川邊謀反事露、逃走、於是遣使圍守、七道搜捕、之、以從五位下多治比賣人藤原爲左京亮、從五位下多治比賣人三上爲下大藏木田押國爲助、從五位下藤原朝臣眞及爲衛門佐、○丙申、地震、○丁酉、水、上郡、詔曰、水上川繼游、謀逆、事既發覺、殊法處斬、罪合極刑、其時不破內親王反、但以諒闇之始、山陵未訖、哀感之情、未忍論刑、其川繼游、小田桐淳著、流、不破、者移配、淡路國川邊郡、王子之子也、初川繼游、責人大和乙人私帶、兵仗、闖入宮中、所、致、川繼游、今月十日、夜、聚、衆、入、自、北門、將、領、朝廷、仍、遣、乙人召、路、其、黨、字、

右大臣正二位兼行皇太子傅中衛大將藤原朝臣藤原



長岡京の復元想像図

演者近著 (令和4年8月30日発行)

- 主催 NPO 法人 長岡京市ふるさとガイドの会
- 共催 長岡京市教育委員会
- 後援 長岡京市観光協会
- 問合せ NPO 法人長岡京市ふるさとガイドの会 高橋 ☎ 090-7366-3107

